

H23年度総合評価(福祉課・高齢福祉課所管施設)				
]		総合福祉センター	サンホーム滝呂	ふれあいセンター姫
指定管理者名		(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会
指定期間		5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)
設置目的		児童、老人、障がい者、母子家庭等に対して各種の福祉サービスを提供するとともに、市民の福祉活動を助長し、市民福祉の増進を図るための施設。	児童、老人等に対して各種の福祉サービスを提供するとともに市民の福祉活動を助長し、福祉の増進を図るための施設。	児童、老人等に対して各種の福祉サービスを提供するとともに市民の福祉活動を助長し、福祉の増進を図るための施設。
報告書類等の提出状況		良好	良好	良好
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好
	市事業の実施	良好	良好	良好
	自主事業	良好	良好	良好
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	112,969,305	33,250,271	33,272,734
	内利用料金収入	—	1,674,340	1,441,570
	内指定管理料	107,937,200	31,550,000	31,818,000
	支出	102,258,694	37,778,823	31,943,862
	収支	10,710,611	▲ 4,528,552	1,328,872
市民利用者の声の反映		良好	良好	良好
全体的評価	良好		良好	良好
	・協定書に基づき、事業を適正に執行している。 ・駐車場の不足への対応について、日頃から近隣事業所との協力態勢により利用者ニーズに込えている。 ・実施事業については課題に認識や利用状況の分析により、改善・工夫して実施されている。		・協定書に基づき、事業を適正に執行している。 ・事業収支が赤字決算になっていることについては、児童センター・老人センターに配置される多治見市社会福祉協議会の個々の職員の人件費に左右されるため、1施設として把握するのではなく、多治見市社会福祉協議会が担う指定管理施設全体をみる必要がある。全体では黒字であるとの報告を受けている。 ・地域の人材を各種事業にうまく取り入れながら事業展開し、また関係機関と連携をするなどし、地域の拠点施設としての役割を果たしており評価できる。	・協定書に基づき、事業を適正に執行している。 ・北小木町などの地区にも目を向け、移動老人センターなどを実施し、既存施設の維持にも目を向けていただいていることは評価できる。 ・老人センターや児童センターの事業についても経験豊富である。現状に満足するのではなく、内容の濃い事業を展開することや、ヤングオールド世代に向けた新たな発信ができるような事業展開を期待する。
利用人数・前年度比増減率		老人福祉センター：65,256人（59,186人前年度比10.3%増） 障害者福祉センター：4,756人（5,061人前年度比6.0%減） 児童センター：46,072人（46,616人前年度比1.2%減） 母子福祉センター：5,241人（5,363人前年度比2.3%減） 会議室：38,165人（37,478人前年度比1.8%増）	老人センター：26,531人（前年度比4.6%増） 児童センター：27,121人（前年度比9.9%減） 総合計：54,207人（前年度比3.5%減）	老人センター：12,298人（前年度比5.4%増） 児童センター：24,740人（前年度比12.0%減） 合 計：37,246人（前年度比7.4%減）
増減の理由		老人福祉センター利用者の増加による。	老人センター：イベント回数が増加したこと、人気の講座があるなどしたことによる。 児童センター：利用人数のカウント方法変更による。（重複カウントしない方法に変更）	老人センター：各教室への参加者が増加。ニーズの把握から人気の教室ができたりと利用者の増加につながったことによる。 児童センター：原則家に帰ってランドセルを置いてから来館することが徹底されたこと、児童数が減少していることによる。

H23年度総合評価(福祉課・高齢福祉課所管施設)				
施設名	かさはら福祉センター		高齢者能力開発研修センター	
指定管理者名	(社) 多治見市シルバー人材センター		(社) 多治見市シルバー人材センター	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)		5年(H22/4/1～H27/3/31)	
設置目的	老人、障がい者等に対して各種の福祉サービスを提供するとともに、市民の福祉活動を助長し、市民福祉の増進を図るための施設。		高齢者に就業の機会を提供するとともに、高齢者の生きがい活動を推進するための施設。	
報告書類等の提出状況	良好		良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	
	市事業の実施	良好	良好	
	自主事業	—	良好	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	
	その他管理	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	25,239,000	2,596,000	
	内利用料金収入	—	—	
	内指定管理料	25,239,000	2,596,000	
	支出	24,818,024	2,426,679	
	収支	420,976	169,321	
市民利用者の声の反映	良好		良好	
全体的評価	若干不備あり		良好	
	・節電に努め、省エネを実践している。 ・事業は医療機関、地域福祉協議会と連携し、高齢者のニーズに応えている。 ・小規模修繕について、協議の上、実施されている。 ・前年度指示事項となっていたホームページ作成が未着手。		協定書に基づき、事業を適正に執行している。指定管理料が年間2,596千円で、施設管理上修繕が多発すれば管理運営業務担当者賃金(担当者1名のシルバー事業との按分1:12)相当額も充てることができず赤字になってしまうことは認識している。このような厳しい予算の中で事業を適正実施していることは評価できる。	
利用人数・前年度比増減率	延べ21,655人 (前年度比5.7%減)		延べ3,466人(相談者等を含む。) (前年度比19.8%減)	
増減の理由	一般利用者の減少による。(集会室等の利用は増加)		シルバー人材センターの登録者数が減っているなどによる。	